

(講座) 分子創薬科学

(研究室) 細胞制御学

(氏名) 尾崎惠一

(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 癌・脂肪細胞の増殖・分化制御機構に関する研究
2. シグナル遮断薬によるシグナル伝達病治療に関する研究
3. ヒストン脱アセチル化酵素阻害を基盤とした新規がん分子標的療法の開発
4. 低酸素環境下におけるがん細胞の悪性化に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Y. Fujiwara, Y. Hosokawa, K. Watanabe, S. Tanimura, K. Ozaki and M. Kohno: Blockade of the phosphatidylinositol-3-kinase -Akt signaling pathway enhances induction of apoptosis by microtubule-destabilizing agents in tumor cells in which the pathway is constitutively activated, *Mol. Cancer Ther.*, **6**, 1133-1142 (2007). (IF: 5.137)
2. S. Tanimura, A. Hirano, J. Hashizume, M. Yasunaga, T. Kawabata, K. Ozaki and M. Kohno: Anticancer drugs upregulate HspBP1 and thereby antagonize the prosurvival function of Hsp70 in tumor cells, *J. Biol. Chem.*, **282**, 35430-35439 (2007). (IF: 5.808)

B 邦文

(B-b) 総説

1. 尾崎惠一: 細胞内シグナル伝達経路の遮断を基盤とした新規がん分子標的治療法の開発, *薬学雑誌*, **127**, 983-991 (2007).

【学会発表】

B 国内学会

(B-a) 招待講演, 特別講演, 受賞講演

1. 河野通明, 谷村進, 尾崎惠一, 渡邊一石: Targeting the ERK signaling pathway in cancer therapy, 第 65 回日本癌学会総会, 横浜

(B-b) 一般講演

1. 尾崎惠一, 小杉正生, 坂元利彰, 河野通明: Effective chemotherapeutic strategies for the treatment of lung adenocarcinoma cells harboring EGFR mutation, 第 65 回日本癌学会総会, 横浜
2. 藤原雄介, 渡邊一石, 谷村進, 尾崎惠一, 河野通明: Blockade of the PI3K-Akt pathway selectively enhances induction of apoptosis by microtubule-destabilizing agents, 第 65 回日本癌学会総会, 横浜

3. 積佳江, 尾崎恵一, 河野通明: PI3キナーゼ/Akt 経路遮断剤とドキソルビシンの併用による細胞死誘導増強 セラミドの関与, 第 24 回日本薬学会九州支部大会, 福岡
4. 田中将人, 尾崎恵一, 河野通明: 低酸素環境下における癌細胞の抗癌剤耐性獲得の分子機構, 第 24 回日本薬学会九州支部大会, 福岡
5. 坂元利彰, 馬場伸幸, 尾崎恵一, 河野通明: HDAC 阻害剤と MEK 阻害剤の併用による細胞死誘導の分子機構, 第 24 回日本薬学会九州支部大会, 福岡

【研究費取得状況】

1. ヒストン脱アセチル化酵素阻害を基盤とした新規がん分子標的療法の開発;文部科学省 科学研究費 基盤研究(C)
2. シグナル伝達病としてのメタボリックシンドロームの発症メカニズムの解明とその新規治療戦略の確立; 平成 19 年度 医科学応用研究財団 研究助成金

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	24 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	2 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	3 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	13 編
特許	0 件		